

富良野市橋梁長寿命化修繕計画 (門型標識含む)

平成 31 年 3 月 策 定

令和 8 年 8 月 改 定

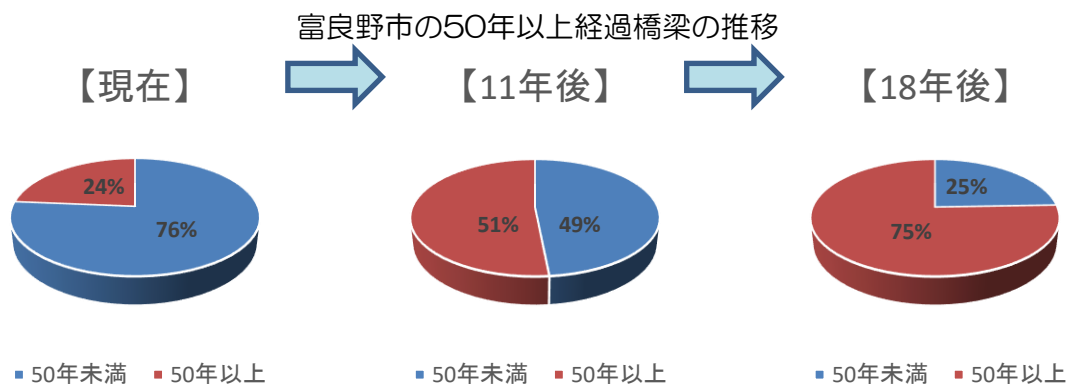


富良野市建設水道部都市施設課

1. 橋梁個別施設計画の目的

I.背景

- 現在、富良野市では個別施設対象施設は263橋の橋梁・1基の門型標識がありますが、橋梁においては、そのうち建設から50年以上が経過する橋は、62橋で全体の24%を占めています。
- さらに11年後の2035年には、この割合が51%（135橋）に増加し、18年後の2042年には割合が75%（198橋）となり、橋の高齢化と老朽化が急速に進行します。



- そのため、厳しい富良野市の財政状況のなか、このままでは橋の修繕や架替えなどに必要な費用が、大幅に増加することが予想されます。
- このような背景から、今後、橋の修繕や架替えなどに必要となる費用に対するコスト縮減への取り組みが、必要かつ不可欠となっています。

II.目的

- 道路交通網の安全性を確保しながら、今後、高齢化と老朽化が進む橋の急激な増加に対処するための、効率的かつ計画的な橋の維持管理のあり方を検討します。
- 重大な損傷や問題が発生してから対処する、『事後保全』型な維持管理から、『予防保全』型な維持管理へと管理手法を転換し、橋の長寿命化を図ります。
- 橋梁等（門型標識含む）の効率的な維持管理と『予防保全』による長寿命化により、大幅なコスト縮減を図ります。

2. 橋梁個別施設計画の対象橋梁

	道路橋	人道橋	合計
富良野市が管理するすべての橋梁数	258	5	263
うち計画の対象橋梁数	258	5	263
橋長が15m以上の橋梁数	88	5	93
橋長が15m未満の橋梁数	170	0	170

- 橋梁個別施設計画は、富良野市が管理するすべての橋梁が対象となっています。

3. 道路付属物の個別施設計画の対象施設

施設名	所在地	路線名	基数
朝日通門型標識	新富町	朝日通	1

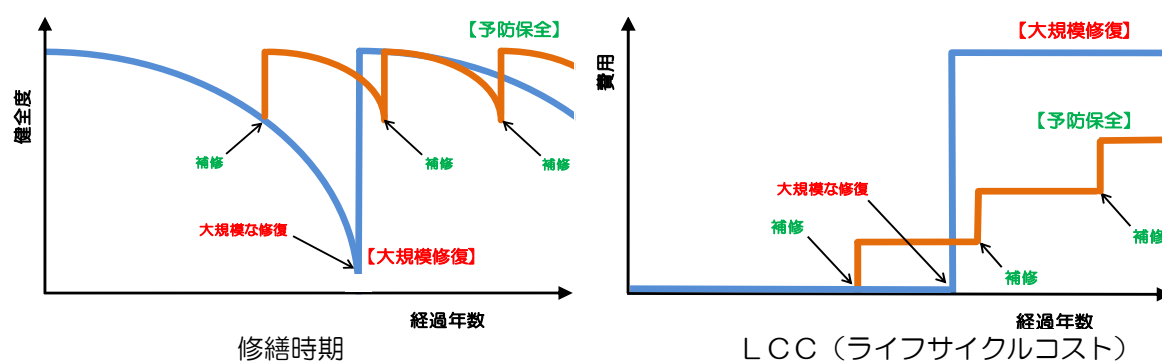
4. 日常的な維持管理に関する基本方針

- 橋梁等の維持管理では、5年毎に実施する定期点検の他に、日常点検・特別点検・異常時点検を実施し、施設の健全性の確保と改善に努めます。
- 日常点検は、橋梁等を良好な状態に保つための日常の維持管理として、道路のパトロールに併せて施設の清掃などを実施します。
- 特別点検は、主要部位の損傷が激しく、将来的に補修や補強が必要な特定の橋梁等に対して、損傷の状態を調査するため、毎年実施します。
- 異常時点検は、自然災害などで重大な損傷が発生した橋梁等の施設に対して、損傷の応急対策を検討するため、緊急に実施します。

5. 橋梁及び道路付属物の長寿命化及び修繕費用に関する基本方針

- 施設点検を通して施設の健康状態を的確に把握し、現在の橋梁（門型標識含む）の健全度から、将来の中長期的な施設の健全度の推定を行います。
- 従来の、壊れた後に大規模補修や橋の架替えを行うという【大規模修復】の考え方から、損傷が顕在化する以前に、予防的な補修を行う【予防保全】の考え方へと橋の管理の考え方を変更します。
- 計画的で予防保全的な橋の維持管理を徹底することにより、補修や架替えに必要な多額の費用や効果の乏しい修繕を回避して、橋のLCC（ライフサイクルコスト）の縮減を図ります。
- 限られた予算の制約の下では、健全度や橋の重要度を考慮した優先順位を決定し、修繕計画に反映させます。
- 地域の状況や代替路線の有無について確認及び検討し、集約化・撤去を検討します。

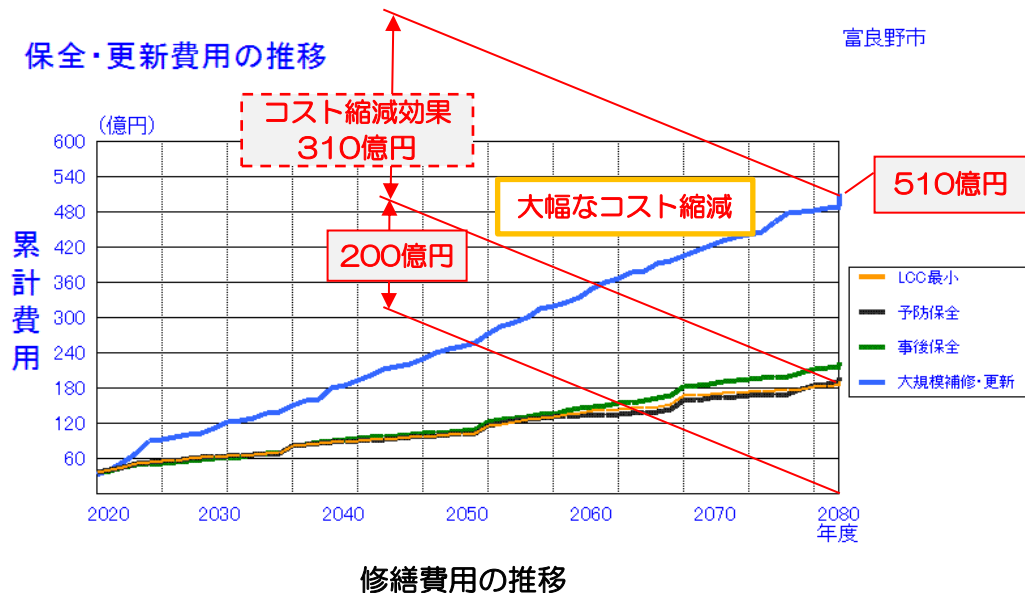
【大規模修復】と【予防保全】の比較



※LCC（ライフサイクルコスト）とは、建設から取り壊しまでの、橋の一生にわたる維持管理に必要な費用のことです。

6. 個別施設計画策定による効果・方針

- 個別施設計画では、施設点検に基づく橋梁および門型標識の健全度の評価から、今後60年間の施設の劣化の進み方を予測し、維持管理のための費用が最小となる修繕計画を見つけ出します。
- 個別施設を策定する上でのコンピュータを用いた予測では、大規模補修や更新から、LCCが最小となる修繕計画を策定し実施することにより、今後60年間で、維持・修繕費用が510億円から200億円にまで縮小され、大幅なコスト縮減効果が見込まれます。



- 上記の予測は、富良野市の維持管理のための予算を反映させたものではなく、その金額もあくまでコスト縮減効果の傾向を把握するためのものになります。
- 長寿命化修繕計画は、今後の点検結果や富良野市の維持管理のための予算などを反映させて概ね5年毎に見直されることになっています。
- 管理する橋梁及び門型標識のうち修繕や点検等にあたっては、新技術等の活用を検討を行います。

7. 橋梁の短期的な数値目標について

【基本方針】

- 管理する橋梁263橋について、機能縮小、複数施設の集約化などの検討を行い、点検・修繕・更新に係る費用の縮減を行います。

【新技術等の活用の短期的な数値目標】

- 管理する橋梁263橋のうち、約1割の施設で新技術の活用を検討し、令和11年度までに約1百万円のコスト縮減を目指します。

【集約化（撤去）の短期的な数値目標】

- 迂回路が存在し集約化（撤去）が可能な橋梁263橋において、令和13年度までに1施設の集約化（撤去）し、将来の維持管理コストを15百万程度縮減することを目指します。

【費用縮減の短期的な数値目標】

- 管理する橋梁263橋のうち修繕計画を検討する施設において、約1割の施設で新技術等の活用を検討し、令和11年度までに約1百万円程度縮減を目指します。

8. 門型標識の短期的な数値目標について

【基本方針】

- 管理する門型標識1基について、老朽化に伴う修繕等の実施を検討する際は、利用状況等を把握し、利用実態に応じた施設の集約化・撤去、機能の縮小等による費用の縮減を行います。

【新技術等の活用の短期的な数値目標】

- 門型標識について、新技術の活用を検討し、令和14年度までに約5万円のコスト縮減を目指します。

【集約化（撤去）の短期的な数値目標】

- 門型標識1基について、大規模な修繕、更新が必要になった場合に、利用状況、利用実態に応じて、片持ち式への変更等を検討し、変更となった場合の維持管理コストを令和14年度までに25万円程度縮減を目指します。

【費用縮減の短期的な数値目標】

- 新技術の活用により、令和14年度までに約5万円程度縮減を目指します。

計画策定担当部署

- 計画策定担当部署
富良野市 建設水道部都市施設課 Tel 0167-39-2313